

金沢区文化協会設立5周年記念 金沢区吹奏楽フェスティバル



合同演奏

金沢区文化協会会報

金沢区文化協会
編集人 岩瀬 昭二
広報部長
☎ 701-0795
発行人 助川 信彦
会長
☎ 781-9337

「アンサンブルをどうぞ」で小編成の演奏が続いたあと、金沢吹奏楽団と釜利谷高校吹奏楽部の合同演奏がありました。同校は部員が僅か三名なので金吹と練習のときから一緒

夏の子園スタンド応援でおなじみの横浜中学高校吹奏楽部は、力強い演奏でした。特に同校の「八木節」は名物と云われるだけのものがあります。

午後一時文化協会助川会長の挨拶のあと、関東学院六浦中学高等学校吹奏楽部の演奏です。同校は横浜中高校と共に三回とも出演していただいている常連校です。七十名を越す大編成で「オーメンズ オブ ラブ」など楽しい演奏をしてくれました。

日(日)金沢公会堂にて行われました。区内の中高校吹奏楽部と、金沢吹奏楽団とのジョイント演奏は、平成八年十一月と平成十年二月にも実施しており、今回は、第三回となりました。いつもご好評をいただくイベントです。

吹奏楽フェスティバル」が二月二十



関東学院六浦中高校

神奈川新聞が二十一日付 記事と写真を大きく掲載し、タウンレタビ金沢も取材に見えました。



金沢吹奏楽団・釜利谷高校

また、当日はロビーにて「文化協会五年のあゆみ」写真展が開かれ、平成七年三月発足以来の行事写真二十四枚を展示、多くの方々が足を止めて見入っていました。

ラストはすっかり恒例となりました学生の合同演奏です。横浜高校立石洋介先生のタクトで「レイジングサンダー」百名を越す大迫力の演奏でしめくくりました。

民謡やポップスをアレンジした曲など、多彩な選曲で来場者を楽しませました。



横浜中学高校

に行動し、すっかり溶け込んでおりました。どのグループもおなじみの合奏曲のほか、

金沢区民短歌大会開催



文化協会

文芸部は、昨年五月に

「第一回金沢区民俳句大会」を開き、参加の方々に好評をいただきました。

俳句と並

ぶ和歌の分野でも、金沢区内の短歌愛好者で、作品は知りながら面識のないケースもあるので、その交流を計り、地域の文化振興の一環として「金沢区民短歌大会」が計画されました。

計画は上原理事を中心にすすめられ、昨年十月二十四日(日)金沢地区センター大会議室で大会が開かれました。八十七名の参加者は前もって一人二首の短歌を提出、歌集が配られました。

はじめに横浜歌人会副会長青田伸夫先生の「アニミズムと短歌」の講演がありました。応募作品の講評は五人の選者の方々が分担され、最後に入選作品一八首の披露と、表彰式が行われ四時お開きとなりました。

入選作品

○金沢区文化協会会長賞 小原修一
み佛の声なき声を聴きます

安らぎにあり耳遠くして

○金沢区長賞 大江良子

風たてばみ寺の庭の丹の橋は

炎のごとく水面に揺らぐ

○金沢区民歌人会長賞 大谷博通

シベリアの空飛ぶときにツンドラ

に眠れる父を友は祈れり

○選者賞 大塚道子・武部靖江・秦正子

山崎文治・浅石敏子

○互選賞 間々田広枝・酒井治子

向後君子・小野緑

沢田文子・糸岡茂

佐々木富美子・石川武

喜瀬美佐子・佐藤良二

第11回 金沢区民文化祭 区民の作品展



お茶会

昨年十月十三日(月)より十七日(日)まで第十一回金沢区民文化祭区民の作品展が文化協会主催のもと開催されました。

り手作りの作品を募集し、一堂に展示して、お互いに楽しみながら鑑賞し合う作品展です。

例年どおり、書道・絵画・写真・文芸・手工芸部門ですが、どの部門も出品点数が増え、内容も充実したと思います。来場者も昨年あたりから増加を実感していましたが、今年は初めて二千名を超えました。有り難いことです。作品展後半に開催の華道展(大会議室)も大幅にお客が増えましたと金沢華道会の方々。金沢茶道会の十七日のお茶会(ロビーと和室)も盛況で、お茶券を手にした行列が続きました。

初心者レベルアップ写真教室



レンズを向けてシャッターを押すだけで写真が撮れる時代になってから、かなりの時間がたちま

した。しかし、上手になりたい、皆と違う写真を撮りたいとお考えの方も大勢いらつしやるでしょう。そういう人々を対象に、金沢区文化協会では「初心者レベルアップ写真教室」を企画しました。平成十一年八月号の広報よこはま金沢区版に受講者募集の要項を載せて頂き、「はまかせ」やタウンテレビ金沢に協力をお願いしました。三十名の定員に五十五名の応募があり、九月十四日と二十一日の二回シリーズで、初

心者写真教室を金沢地区センター中会議室で開催しました。

講師は写真部岩瀬理事。写真の歴史からカメラの構え方・レンズの話・人物や風景の撮り方・構図の話など解説しました。受講者の出席率は百分に近く、「ぜひ今後とも写真に親しんで下さい」との講師の挨拶で終了しました。

二十一日には、タウンテレビ金沢の取材があり、後日放映されました。

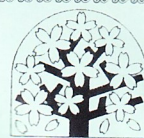
初めての試みでしたが、受講希望の方が予想を遙にオーバーしましたので、本年も第二回の写真教室を行いたいと考えております。



区の花

金沢区に文化ホールを

* 文化のまち金沢に *



区の木

金沢区が誕生してから52年目を迎えます。山あり、海ありさらに気候温暖な金沢区は、環境に恵まれた住宅地として、そして近年は臨海工業地区も発展し、人口は20万人を超えております。更に金沢区は歴史的に中世以降鎌倉とのつながりが深く、区内に称名寺をはじめ、多数の歴史的社寺があり、文化財の宝庫とも云われる歴史の街でもあります。

このような環境の良さが、1年前サンケイリビングの首都圏37地区「わが街の暮らし心地アンケート」“だれにとってもやさしい街”部門で、その第1位に金沢区が選ばれております。その反面、他の“文化施設の充実度”部門では、全く逆の

お寒いかぎりの低評価でした。

ところで金沢区民の伝統芸能や音楽・美術・文芸など文化活動は極めて活発であり、今後も益々盛んになるものと思われます。しかしそれぞれの文化活動の発表や交流の場が、区内には老朽化した金沢公会堂と長浜の小ホールしかなく、音楽などの大きな催しは、他区・他市のホールで発表しているのが現状です。

“こころ”の充実が叫ばれる新しい世紀に向かって、私たちは金沢区に文化の殿堂である文化ホールを建設し、明るく豊かに発展する「文化のまち金沢」を作りたいのです。

平成12年 4月

金沢区文化協会

文化ホール建設促進小委員会

小委員会開催記録

平成11・6・16 理念と活動方法の検討

- 11・7・13 鎌倉芸術館見学
- 11・7・30 ホールのイメージあわせ
- 11・9・16 小幡議員のアドバイスを頂く
- 11・10・29 黒川議員 ”
- 11・11・24 宗形議員 ”
- 11・12・16 国吉議員 ”
- 12・1・28 コンセプトと運動方向
- 12・2・29 運動方向検討結論

なお、金沢ふれあい文化祭実行委員会代表藤代富士穂氏より、文化ホール建設促進小委員会の運動に対して金20万円のご寄付がありました。厚く御礼申し上げます。



日本舞踊連盟公演

鈴木金沢区長が出演

金沢区民文化祭参加第四回金沢区日本舞踊連盟公演が、昨年十一月十四日(日)金沢公会堂にて行われました。金沢区日本舞踊連盟は古典に忠実な日本舞踊の指導者の集まりであり、毎年

一回公演をしております。たまたま昨年の公演を鈴木一雄金沢区長がご覧になり、連盟の姿勢に共感、今回の催しに特別出演となりました。区長の長唄は年季が入っており都鳥を唄われました。この曲は隅田川の春から夏にかけての情景を、品良く唄った独吟物で、区長は艶のあるノドを披露されました。この日の舞台は装置も照明も美しく、いっぴいの観客を夢の世界に誘いました。



吟剣詩舞道連盟創立大会開催

の動きがすすみ、志村・梅木両理事のご尽力の結果、十二団体による金沢区文化協会吟剣詩舞道連盟創立大会が、

金沢区内には吟詠・詩舞・剣舞の団体も多く、独自に活動しております。それぞれに横のつながりを持ち、連携しようと

昨年十二月五日金沢公会堂で文化協会主催のもと行われました。詩吟で詠じられるものは、殆どが漢詞で、その内容は品行方正を心がけるものが多いと伺っていました。そのお言葉のとおり、出演の方々は皆威儀を正され、格調高い吟詠が美しい照明の中、会場いっぴいにひびきました。午後式典が行われ、助川文化協会会長・志村連盟理事長のご挨拶が議員諸氏の出席のもと行われました。おかげさまで第一回大会は成功裡に終わりました。今後も毎年開催を計画しております。

金沢区児童生徒席書大会



本年二月六日(日)金沢地区センターの体育館で、第一回金沢区児童生徒席書大会が、金沢区書道協会と金沢区文化協会の共催・金沢区役所後援で開かれました。

日本の伝統文化の一つである書道を通して、児童生徒の健全教育を図り、書道文化の継承とその向上普及を目的として

います。

当日は小学生から中学生・高校生までの六十名ほどの参加者が、底冷えのする体育館にシートを敷き、一斉に課題の文章に筆をはしらせました。多数のご父兄や関係者が見守る中、静かに時が流れました。全員の作品提出後、審査の時間を利用して、浅沼理事の席書の筆の運びについて実技指導がありました。

審査の結果、次の通り入賞者が決まりました。

- 金沢区長賞 根元朱子(高3)・長塚幸子(小6)
- 金沢区文化協会会長賞 四辻 拳(中2)・安井唯人(中1)
- 楠本実季(小4)
- 金沢区書道協会会長賞 安井彩香(小5)
- 杉本真梨奈(小3)・高橋志帆(小2)

理事会だより

- 9・8 12・12 国際交流事業で金沢吹奏楽団と共催のクリスマスコンサートに外国人親子60名招待、この催しに東洋信託文化財団より助成金40万円受与決定。
- 10・6 10・24 第一回区民短歌大会に応募者88名との報告。9月末会費未納者リストにより徴収に努力。奥田副会長自己都合により退会の申し出あり、理事会として承認、後任選出後刻。
- 11・10 10月末会計中間報告。区民文化祭作品展報告。文化協会五周年記念金沢吹奏楽フェスティバル準備状況報告。星翠雲理事(書道)後任の副会長に就任承認。
- 12・8 3・11 文化講演会で考古学、金沢の埋蔵文化財について”決定。各部次年度事業計画を1月中旬に事

業部長に提出する。

- 12・1 12 昨年末現在会員数報告並会計報告。文化ホール小委は近く終了。そのまともを総会に提案する。
- 2・10 書道協会と共催・金沢区児童生徒席書大会報告。2・20文化協会設立五周年記念金沢区吹奏楽フェスティバル役割分担確認。3・11文化講演会準備状況報告。本年度の総会は4・30(日)に決定する。

賛助会員芳名簿

(アイウエオ順)

- 飯 吉 玲 子
- 金 沢 区 三 師 会
- 関 東 学 院 大 学
- 幸 栄 印 刷 (株)
- (有)高松写真商会
- 横 浜 市 金 沢 団 地 協 同 組 合
- 横 浜 市 立 大 学

編集後記

五周年記念行事のほか、今年度は俳句・短歌の大会、写真教室・吟詠大会・席書大会と新しいイベントが目白押し。「会員プロフィール」は休載のやむなきに至りました。

編集員 岩瀬昭二・森川淳子・佐野史瑞子
後藤政也・氏家総子

クリスマスコンサート 金吹に文化財団助成金

昨年12月12日(日)金沢吹奏楽団主催・金沢区役所共催、金沢区文化協会・タウンテレビ金沢後援のもと「クリスマスコンサート」(音楽のおくりもの)が金沢公会堂で開かれました。

このイベントは、金沢区役所のご推薦により、東洋信託文化財団の助成公演に選ばれ、コンサートの冒頭、文化財団事業部長林 智英氏より40万円の助成金の授与式がありました。これは金沢区役所のお力添えと、金吹の長年にわたる努力とその実績が認められたもので誠に同慶の至りです。

この日の来場者は、入り切れないほどの大盛況で、クリスマスソングで非常に盛りあがりました。

また、ふれんず金沢の代表武田さんを通して、区内在住の外国人親子60名を文化協会がご招待しました。プログラム中「上を向いて歩こう」では会場全員と合唱したり、更に氏家理事手作りのクリスマスプレゼント「リース」が全員に贈られ、楽しいひとときを過ごしていただけたと思います。ささやかながら国際交流となりました。